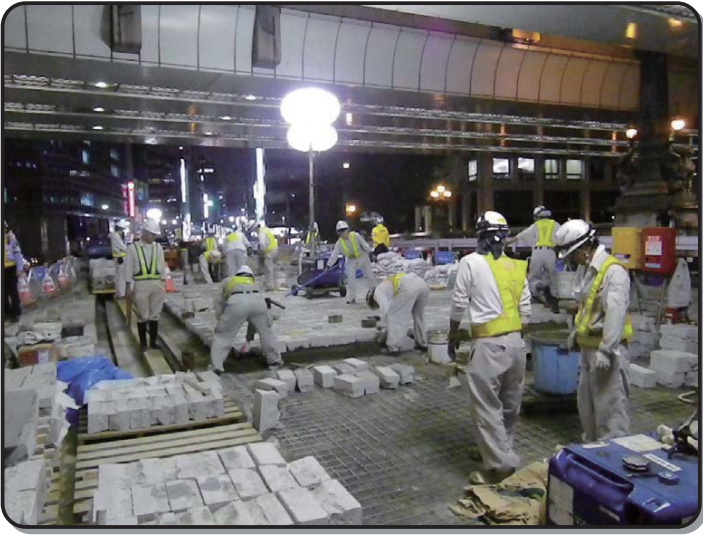


石を戻す

大切に取りはずしておいた車道と歩道の石を平らになるように戻せば、橋の表面の補修は完成です。車道の石は、石が動いて再びでこぼこにならないように、下にモルタルを設置して、石と橋をしっかりと固定します。



▲石の設置状況



▲網鉄筋の設置状況

今回の工事では、石の下のモルタルの中にも、今までなかった網鉄筋を設置し、より頑丈な構造にしました。

石と石の間にもセメントペーストを詰めて、石が横方向にも動かないようにしっかりと固定します。この作業も全て手作業で行いました。



▲セメントペースト作業状況

歩道の石は、取りはずしたときに一つ一つ番号をつけて作成した配置図をもとにして、取りはずす前と同じ場所、同じ方向に戻していきました。

今回の補修工事で取りはずした石は、車道部分では97%、歩道部分では100%を再利用しています。

第二次世界大戦による焼夷弾の跡もそのまま残しました。

工事中は、見学会を行い、日本橋の地域の方々をはじめ、多くの方に100年間の傷み具合や補修状況を見ていただきました。



▲見学会の様子



▲歩道部分の石の復旧状況